

グループホームの設置・運営、援助をチェックする～モニタリングについて

この章では、グループホームのモニタリングの必要性とその方法や留意点について、実際のチェックリストを提示します。

①……モニタリングの必要性と具体的な方法、留意点

(1) 密室性を破る

グループホームは入居者一人ひとりの家です。そこではプライバシーが尊重され、一人ひとりの好みにあった生活が営まれます。そのために必要な援助が受けられるところ、それがグループホームです。私たちはこの設置運営マニュアルでこの点を繰り返し確認し、そのために必要な具体的な手立てについて考えてきました。しかし「暮らし」という非常にプライベートな場面には実は危険な落とし穴があります。それは「密室性」ということです。

少数の固定した入居者と固定した援助者による生活空間は、親密で落ち着いた暮らしが期待できる一方、そこで起こっていることが周りから見えなくなる危険があります。

グループホーム利用は運営者と入居者の契約によって成り立っているのですから、形からいえば運営者と入居者は対等な関係です。しかし実際には運営者・職員と入居者との間には立場や力関係に大きな違いがあります。その一つは両者の間にある表現力や交渉力の差です。グループホームには言葉による表現や交渉が難しい人、苦手な人がたくさんいます。そして大変残念なことです、現在は入居者が自分の意思で自由にグループホームを選んだり替わったりできる状況ではありません。こうした中で入居者がグループホームにたくさんの注文をつけた、変えてほしいと強くものを言うことは、大変難しいことです。場合によっては入居者がその生活基盤を失うことにもつながります。こうした関係の中でグループホームの「密室性」を内部の力で破ってゆくことは非常に困難です。

(2) 第三者委員によるモニタリング

こうした「密室性」を破りグループホームの質を高め維持するためには、入居者の人権尊重の視点を明確に持つ第3者によるモニター活動が必要です。地域の複数の人で構成するモニター委員会が、定期的にグループホームを訪問し、点検の指標となるモニター用チェックリストを使って、観察と入居者や援助者からの聞き取り、必要であれば父母や近隣の人、他の関係者からの聞き取りも含めて、グループホームの生活の内容を精査する活動です。モニター委員は弁護士、福祉事情や障害者問題に詳しい人、地域で暮らす障害者、家族などのほか、ふつうの生活感覚を持つ学生や勤め人、地域の商店主、町内会の世話役など幅広い人たちが構成されます。

モニター委員に活動してもらうことは、モニター活動を通してグループホームのチェックが行われるだけでなく、ふつうにはなかなか伝わりにくい障害のある人たちの暮らしぶ

りやグループホームの実像、そこで働く人たちの苦労や喜びが、社会化されることにつながるなど、一石二鳥の効果が期待できます。

第三者によるモニタリングは、客観的な立場からの公正で厳正な評価ですが、決してグループホームのあら捜しや、点数付け、ランク付けではありません。評価の結果出てきた問題点をグループホームの運営者や職員と一緒に確認し、グループホームの生活や仕事の楽しさ難しさを共有しつつ、改善や解決の方向をさがすことによって、グループホームの質全体を高めることが目的です。

(3) まず最初に自己点検を

そのためには第三者委員によるモニタリングの前に、運営者や職員が同じモニターリストを使って自己点検することが重要です。これがあって初めて第三者のモニタリングが生まれてきます。それぞれの立場でチェックした同じリストを見ながらグループホームについて深く話し合うことによって、そのグループホームの問題点が確認でき、同時になぜそうなのか、どうすれば改善できるのか、改善できない原因がどこにあるのかが見えてきます。こうしたことがそれぞれのグループホームで行われることを通して、その地域全体のグループホームの質が向上するのです。そこまでいって初めて第三者委員によるモニタリングの目的が達成できるのです。

自己点検には他の効果もあります。グループホームは少人数の職場です。毎日のこまごました仕事の中で何か疑問を感じてもそれを確かめることが難しく、問題の存在自体見えなくなりがちです。こうした中で自分の仕事を検証するためには、客観的な指標が身近にあることはとても大切です。モニターリストを自分の仕事の振り返りの道具として活用してください。

世話人さんが一人でやってみるのもよいでしょう。同じグループホームの複数の世話人さんが別々にやり、結果について話し合うのもよいでしょう。他のグループホームの世話人さんとチェック結果をもとに話し合うことで、新しいつながりができるかもしれません。運営者、サービス管理責任者、世話人間で同じことをやれば、職場の風通しが一段と良くなるでしょう。

どんな場合でも自己点検には痛みが伴います。でも自分と自分の仕事を客観的に見つめ、問題を他の人と共有しオープンに話し合うことで仕事は格段に楽しくなります。勇気を持ってこのチェックリストを活用してください。

(4) 入居者がチェックする

モニター委員は入居者からも聞き取りを行います。そのためこのチェックリストには、入居者用モニターリストも用意してあります。入居者は自分が暮らすグループホームに関してさまざまな感情や意見、希望を持っています。けれども入居者はよそのグループホームの様子を知る機会が非常に乏しく、そのため、グループホームの生活の基準がわかっていません。入居者用モニターリストをチェックすることによって、自分が質の良い生活を送るためにグループホームが整備すべき具体的な内容が少しずつ見えてきます。これはとても大切な点です。

自分一人でチェックするのは難しい人が多いでしょう。入居者が信頼している支援者がゆっくり時間をかけてていねいに手伝ってあげてください。その場合、直接生活を援助して

いる世話人さんやグループホーム関係者ではなく、別の立場の人、例えば地域の相談支援事業所の人、卒業した学校の先生、本人活動の支援者、あるいは地域生活の経験の深い先輩当事者などが支援するようにしてください。慣れないと入居者にとっても支援者にとってもかなり面倒な作業かもしれません。全部一度にやる必要はありません。わからないところは抜かして先に進んでもよいでしょう。回を重ねる中で自分が暮らすグループホームに何が大切なかが入居者自身にもわかってきて、第三者委員の聞き取りにも自分の思いを積極的に伝えるようになるでしょう。

(5) 設置の初期段階から活用を

このモニターリストには「設置時のモニターリストと自己点検表」があります。グループホームを作ろうと決意されたときから、この自己点検表を繰り返し見て活用してください。グループホーム新設にあたっては、数限りないと思えるほどの検討・交渉・協議・調整・整備のことがあります。難航を極める事態も起こるでしょう。なかなか計画通りに進まず、実際の着地点を模索しなければならないこともあるでしょう。そうした時にこそ「設置時のモニターリストと自己点検表」を再度確認し、妥協できることとできないことを選び分けてください。

グループホームの第三者評価は現在いくつかの地域で実施されています。指標となるモニターリストも一つではありません。以下は横浜市でグループホームの設立と運営を支援してきた横浜市障害者支援センターのモニターリストを参考に作成したものです。

②……設置時のモニターリストと自己点検表

【運営の原則】

- | | | |
|--|----|-----|
| 1. グループホームを運営する上での原則が運営規定、職員就業規則等に明記されていますか？…… | はい | いいえ |
| 2. 運営の原則は、人権尊重、利用者主体に基づいて作られていますか？…… | はい | いいえ |
| 3. 運営の原則は、利用者、家族、職員等に十分説明・理解されていますか？…… | はい | いいえ |
| 4. 入居者が、新しいことに挑戦する機会を積極的に保障していこうと考えていますか？…… | はい | いいえ |
| 5. 運営に関して、利用者、場合によっては家族と話し合う機会を設けていますか？… | はい | いいえ |

【入居時の契約やルール】

- | | | |
|---|----|-----|
| 1. グループホームへの入居に際して、本人の意思確認をしていますか？…… | はい | いいえ |
| 2. 入居予定者同士が話し合うような場は設定されていますか？…… | はい | いいえ |
| 3. グループホームにどんなルールが必要か、入居予定者と話し合って決めていますか？…… | はい | いいえ |
| 4. 3で話し合った内容などを基に、契約書・重要事項説明書を作っていますか？…… | はい | いいえ |
| 5. 4で作った内容を利用者にわかりやすく説明していますか？…… | はい | いいえ |
| 6. 入居予定者の希望を聞き、個別支援計画に反映していますか？…… | はい | いいえ |
| 7. 入居者からの苦情や提案、希望を受け付ける仕組みはありますか？…… | はい | いいえ |
| 8. 7の仕組みについては、入居予定者にわかりやすく伝えましたか？…… | はい | いいえ |
| 9. 入居者が困ったときにはどこに相談をすればよいか、決まっていますか？…… | はい | いいえ |

【環 境】

- | | | |
|--|----|-----|
| 1. 入居者が利用する以下のような場所がホームの近くにありますか？ | | |
| (1) 商店・スーパー …………… | はい | いいえ |
| (2) コンビニ…………… | はい | いいえ |
| (3) 電車の駅…………… | はい | いいえ |
| (4) バスの停留所…………… | はい | いいえ |
| (5) 銀行や郵便局…………… | はい | いいえ |
| (6) スポーツ・文化施設 …………… | はい | いいえ |
| (7) 病院…………… | はい | いいえ |
| (8) 公衆電話…………… | はい | いいえ |
| 2. グループホームは、駅やバス停まで車椅子などでも自由に行き来できる場所にありますか？…… | はい | いいえ |
| 3. グループホームは、近隣との交流が図れる場所にありますか？…… | はい | いいえ |
| 4. 複数のグループホームが1箇所に固まっていませんか？…… | はい | いいえ |
| 5. 入居者の生活は職住分離されていますか？…… | はい | いいえ |

【建 物】

- | | | |
|---|----|-----|
| 1. 入居者の居室は個室で、間取りは収納設備を除いて、4畳半以上ありますか？…… | はい | いいえ |
| 2. 居間や食堂など、入居者が交流できる場がありますか？…… | はい | いいえ |
| 3. 各部屋には鍵があり、入居者のプライバシーが守られていますか？…… | はい | いいえ |
| 4. 誰かの個室を通らなければ他の部屋へ行かれないような間取りになっていませんか？…… | はい | いいえ |

- | | | |
|---|----|-----|
| 5. 水まわり、特にトイレと洗面所が共同生活するのに十分な設備が整っていますか？ …… | はい | いいえ |
| 6. 毎日生活をする中で、体に無理のくる構造になっていませんか？ …… | はい | いいえ |
| 7. 改修などをする際、入居者の状態を考慮していますか？ …… | はい | いいえ |
| 8. 車椅子の方でも対応できるようなつくりになっていますか？ …… | はい | いいえ |
| 9. 障害特性に応じた造りになっていますか？ …… | はい | いいえ |
| 10. 耐震や耐火も考慮して建物を選びましたか？ …… | はい | いいえ |

【健康と安全】

1. 保健衛生、健康管理(感染症・栄養・成人病など)について、以下のようなことを行っていますか？

(1) 入居者の健康診断(成人病検診等) ……	はい	いいえ
(2) 主治医、MSWとの連携 ……	はい	いいえ
(3) 服薬が必要な入居者への支援計画 ……	はい	いいえ
(4) 献立、カロリー計算などについて栄養士や保健師との連携 ……	はい	いいえ
(5) 食事制限のある入居者への支援計画 ……	はい	いいえ
(6) 急病、緊急時のための健康シートなどの作成 ……	はい	いいえ
2. 入居者と関係者の間で、グループホームが提供する援助の内容とその体制の確認ができていますか？

……	はい	いいえ
----	----	-----
3. 火災時や震災時などの防災計画・避難計画がありますか？ ……

……	はい	いいえ
----	----	-----
4. 緊急時の体制の確認ができていますか？ ……

……	はい	いいえ
----	----	-----

 - (1) 病気

(具体的に)
-------	---
 - (2) 入院・手術

(具体的に)
-------	---
 - (3) 行方不明等

(具体的に)
-------	---
 - (4) 火災・震災等

(具体的に)
-------	---
 - (5) 世話人の病気(不在時)

(具体的に)
-------	---
 - (6) 死亡

(具体的に)
-------	---

③……運営時のモニターリストと自己点検表～入居者用

〈入居者用〉

【自主性・主体性の尊重】

1. あなたは自分のもちものを自分でかたづけていますか(てつだってもらいながらでもいいです)？
 はい いいえ
- ・洋服、郵便物、さいふなど
 その他(.....)
2. あなたは、自分の部屋を自分の好みにあわせてかざっていますか？ はい いいえ
 ・自分の好みのカーテン、絵、ポスター、置物、花などをかざっていますか？
 その他(.....)
3. 虫さされ、小さなケガなどの時に、自分で薬がつけられるように救急箱などがありますか？ はい いいえ
 「はい」の場合、どこにありますか？ (.....)
4. あなたは、グループホームや自分の部屋の戸じまりやガスの栓を閉めたかなど、火の元に気をつけていますか？ はい いいえ
5. あなたが寝るときに、あなたの部屋の電気はあなたが消しますか？ はい いいえ
6. ほかの入居者さんと、自分たちのことを話しあう時間がありますか？ はい いいえ
7. あなたが自分で調理をすることはありますか？ はい いいえ

【意思の尊重】

1. あなたは自分でグループホームに入りたくて入りましたか？ はい いいえ わからない
2. 職員はあなたが希望したとおりに援助してくれますか？ はい いいえ わからない
3. あなたは夕食後や休みの日には自分の好きなことをしてすごせますか？ …… はい いいえ わからない

【プライバシー】

1. あなたはグループホームの玄関の鍵と自分の部屋の鍵を持っていますか？
 (1) 玄関の鍵..... はい いいえ
 (2) 部屋の鍵..... はい いいえ
2. あなたにきた手紙などは、そのままの状態でわたされますか？ はい いいえ
3. あなたがいない時に、職員がかたづけることがありますか？ はい いいえ
4. あなたが居るすの時に、職員があなたの部屋にはいることがありますか？ はい いいえ
5. 職員があなたの部屋にはいる時、ノックや声をかけて返事をまってはいますか？ はい いいえ
6. あなたがいないと言っていないのに、グループホームで勝手に写真を撮られたことがありますか？
 はい いいえ
7. 入浴やトイレの時の援助(介助)は女の人は女の職員(男の人は男の職員)から援助をうけられますか？
 はい いいえ

【選択の可能性】

1. ごはんやおかずなどは自由におかわりができますか？ はい いいえ

2. あなたが食べたいものをお願いすれば作ってくれますか？ はい いいえ
3. あなたが希望すれば、毎日入浴できるようになっていますか？ はい いいえ

【情報提供】

1. あなたは入居する時に、グループホームでの生活についてまえもって説明をうけましたか？

..... はい いいえ

「はい」の場合

- (1) だれから説明を受けましたか？

(だれから

)

- (2) その説明はよくわかりましたか？ はい いいえ

2. あなたは町内会の回覧板を、説明してもらったことがありますか？ はい いいえ

「はい」の場合

- (1) だれから説明を受けましたか？

(だれから

)

- (2) 説明はよくわかりましたか？ はい いいえ

3. あなたは町の中のできごとを、くわしく話してもらったことがありますか？ はい いいえ

「はい」の場合

- (1) だれから話をされましたか？

(だれから

)

- (2) その話はよくわかりましたか？ はい いいえ

4. あなたは、グループホームにお客さんが来るときに、前もって教えてもらっていますか？

..... はい いいえ

「はい」の場合

- (1) だれから説明を受けましたか？

(だれから

)

- (2) 説明はよくわかりましたか？ はい いいえ

5. あなたは選挙のお知らせを説明してもらったことがありますか？ はい いいえ

「はい」の場合

- (1) だれから説明を受けましたか？

(だれから

)

- (2) その説明はよくわかりましたか？ はい いいえ

6. あなたは福祉制度の利用について（どんなときに、どんなサービスがうけられるかなど）説明してもらったことがありますか？ はい いいえ

「はい」の場合

- (1) だれから説明を受けましたか？

(だれから

)

- (2) 説明はよくわかりましたか？ はい いいえ

【日常生活での自由】

1. 外出についての決まりや約束がありますか？ はい いいえ

「はい」の場合

- (具体的に (例)門限など)
2. 外泊についての決まりや約束がありますか? はい いいえ
- 「はい」の場合
- (具体的に (例)門限など)
3. 電話を自由に使うことができますか? はい いいえ
4. 自分の部屋に好きなものを置くことができますか? はい いいえ
5. 日常生活での決まりや約束はありますか?
- (1) 食事について はい いいえ
- 「はい」の場合
- (具体的に)
- (2) 入浴について はい いいえ
- 「はい」の場合
- (具体的に)
- (3) 起床について はい いいえ
- 「はい」の場合
- (具体的に)
- (4) 就寝について はい いいえ
- 「はい」の場合
- (具体的に)
6. 異性とのつきあいについて、職員はどのように考えていると思いますか?
- ・ダメだと考えている
 - ・なるべくしないしてほしいと考えている
 - ・何も言われない
 - ・積極的にするように言われる
 - ・相談にのってくれる
6. 地域で自分の好きなスポーツや趣味の集まりにはいっていますか? はい いいえ
- 「はい」の場合具体的に()
- 「はい」の場合、その情報はだれから聞きましたか?
- (だれから)
7. あなたは楽しみのために、自由に使えるお金を持っていますか? はい いいえ
8. 自由に使えるお金は、それで満足していますか? はい いいえ
- 【現金と財産】**
1. あなたは1ヵ月の生活費を、自分で管理していますか? はい いいえ
- 「いいえ」の場合、だれが管理していますか?
- (家族・後見人・グループホーム・その他・わからない)
- ・管理をする人を決める時に相談をして決めましたか? はい いいえ わからない
- 「はい」の場合、だれと相談して決めましたか?
- (だれと)
2. あなたは年金を自分で管理していますか? はい いいえ
- 「いいえ」の場合、だれが管理していますか?
- (家族・後見人・グループホーム・その他・わからない)

・管理をする人を決める時に相談をして決めましたか？ はい いいえ わからない
 「はい」の場合、だれと相談して決めましたか？

(だれと)

3. あなたは、だいたいなものをグループホームで預かってもらっていますか？

..... はい いいえ

「はい」の場合、何を預かってもらっていますか？

(銀行の通帳・カード・実印・銀行印・保険証書・家の権利書・その他)

4. あなたがグループホームで預かってもらっているお金や貯金のお出し入れのようすを記録したノートがありますか？ はい いいえ わからない

5. そのノートは、あなたが希望すればいつでも、あなたやあなたがたよりにしている人に見せてもらえますか？ はい いいえ わからない

6. あなたがグループホームで預かってもらっているお金や貯金は、あなたが必要な時に出して使えますか？ はい いいえ わからない

7. あなたがグループホームで預かってもらっているお金や貯金は、家族・しんせきの人のために使うことがありますか？ はい いいえ わからない

【人間関係】

1. 職員との関係

(1) あなたはグループホームの職員について、どのように感じていますか？

- ・ きびしい？／ それとも やさしい？／ その時々でちがう？
- ・ よくおこる？／ それとも あまりおこらない？／ その時々でちがう？
- ・ たたかれたことがある？／ それとも たたかれたことはない？
- ・ 私の話を聞いてくれないと思う？／ それとも 話をよく聞いてくれると思う？
- ・ バカにされたと思うことがある？／ それとも 私を大切にしてくれると思う？
- ・ 困った時にたよりにならない？／ それとも 困った時にたよりになると思う？
- ・ 私の気持ちをわかってくれないと思う？／ それとも私の気持ちをわかってくれると思う？
- ・ 子どもあつかいされたり、たのんでもやってくれないことはありますか？

..... はい いいえ その時々で違う

・ 私のことをかってに他の人に話していると思う はい いいえ 時々そう思うことがある

(2) グループホームの職員にこんなふうにやってほしいと思うことは何ですか？

・
・
・

(3) グループホームの職員を何と呼んでいますか？

・ いつも同じ呼び方をしている場合(.....)

・ その時々で違う場合(.....)

(4) グループホームの職員と話したい時に話ができますか？

..... はい いいえ その時々でちがう

「いいえ」や「その時々でちがう場合」

- ・ 話しやすい職員と話にくい職員がいる
- ・ みんながいると話にくい

・その他()

(5) あなたはグループホームの職員に言いにくいことがありますか? はい いいえ

「はい」の場合、だれに言いますか? 下から選んでください。

(親・兄弟姉妹・友人・学校や施設、作業所などの人・支援センター(相談)の人・職場の人・その他・いない)

(6) その他、グループホーム職員のことで特に話したいことはありますか?

()

2. 仲間などとの関係

(1) いっしょに過ごしたいと思う気の合う仲間が いる いない

(2) 同じ楽しみをもっている仲間が いる いない

(3) 家族は会いに くる こない

(4) ホームの外から知り合い・友達が遊びに くる こない

(5) 誕生日・クリスマスなどにプレゼントをしたい友達が いる いない

(6) あなたに手紙や電話をくれる人が いる いない

(7) その他、仲間のことで特に話したいことなどはありますか?

()

3. 地域の人との関係

(1) あなたは地域の行事に参加したことがありますか? はい いいえ

(どんな行事 いく)

(2) あなたは地域の人と出会うとあいさつをしますか? はい いいえ

(3) 地域の人あなたにあいさつをしてくれますか? はい いいえ

(4) あなたが訪ねていける知り合いの家がホームの近くにありますか? はい いいえ

(5) ボランティアや地域の人がホームを訪れることがありますか? はい いいえ

(6) その他、特に話したいことなどはありますか?

()

4. 困った時のこと

(1) あなたの住んでいる部屋を変えてほしい時には、話せば他の部屋に変えてもらえますか?

..... はい いいえ

(2) あなたはグループホームを出たいときには、だれに話しますか?

(グループホームの職員・親・兄弟姉妹・友人・学校や施設、作業所などの人・支援センター(相談)の人・職場の人・その他・いない)

(3) あなたが何か困った時に、どこに相談したらよいか知っていますか? はい いいえ

④……運営時のモニターリストと自己点検表 ～運営責任者・職員用

<運営時—モニターリスト(運営責任者・職員用)>

記入者

【基本的事項】

1. 保健衛生、健康管理(伝染病、栄養、成人病、歯磨き等)について福祉保健センター等のアドバイスを受けていますか? はい いいえ
 - ・ いつ(.....)
 - ・ どんなアドバイスを受け(.....)
 - ・ それに対する具体的な取り組みは(.....)
 - (1) 服薬の支援はどのようにしていますか? (.....)
 - (2) 緊急時の連絡・連携体制は整っていますか?
 - ① 運営者とは はい いいえ
 - ② 入居者とは はい いいえ
 - ③ 職員とは はい いいえ
 - ④ 家族とは はい いいえ
 - ⑤ 医療機関とは はい いいえ
 - ⑥ 関係機関とは はい いいえ
 - ⑦ 地域の人とは はい いいえ
- (3) 保健衛生、健康管理(伝染病、栄養、成人病、歯磨き等)について日頃から話し合ったり、その結果に基づき取り組んでいますか? はい いいえ
 - (具体的に)
- (4) 健康シートを作成していますか? はい いいえ
2. 入居者は定期的に健康診断を受けていますか?
 - (1) 年 回 (2) 内容 (.....)
3. 防災(火災予防、避難計画、避難についての話し合いや具体的な取り組み)について、消防署のアドバイスを受けていますか? はい いいえ
 - ・ いつ(.....)
 - ・ どんなアドバイスを受け(.....)
 - ・ それに対する具体的な取り組みは(.....)
 - (1) 防災(火災予防、避難計画、避難についての話し合い等)について日頃から話し合ったり、その結果に基づき取り組んでいますか? はい いいえ
 - (具体的に)
4. グループホームの運営の原則が、運営規定、職員就業規則等に明記されていますか?
 - はい いいえ
 - (具体的に)
5. 運営の原則は、人権尊重、入居者主体に基づいて作られていますか? はい いいえ
6. 運営の原則は、入居者、運営委員、職員等に理解され、日常の対応の中に活かされていますか?
 - はい いいえ

7. 入居者の希望に応えられない援助はありますか？（他制度の利用も含めて）

- (1) 入浴()
- (2) 布団干し()
- (3) 洗濯()
- (4) 入通院時の付き添い()
- (5) 病気時の対応()
- (6) 外出時の対応()
- (7) 土、休日の対応()
- (8) その他()

8. 入居者への援助が適切かどうか、振り返る機会がありますか？…………… はい いいえ
(具体的に)

9. 職員は、入居者に制度内容とその利用について、情報をわかりやすく説明し、積極的に支援(コーディネート)していますか？…………… はい いいえ

10. 職員は、積極的に研修に参加していますか？…………… はい いいえ

11. 運営者は、職員の研修参加について積極的に対応しようとしていますか？…………… はい いいえ

12. 退居の意思を誰かに告げられるようになっていきますか？…………… はい いいえ

13. 入居者からの苦情や提案、希望を受け付ける仕組みがありますか？…………… はい いいえ

14. 入居者からの相談を受け付ける仕組み(入居者が困った時にどこに相談すればよいか)がありますか？…………… はい いいえ

15. 苦情受付の仕組みについての説明とともに、入居者に誰に(どこへ)話せばよいか、わかりやすく伝えてありますか？…………… はい いいえ

【自主性・主体性の尊重】

1. 入居者の持ち物は入居者自身で管理できるようになっていますか？…………… はい いいえ

- ・ はいの場合、
個人用タンス、ロッカー、机、物入れ、ベッド、テレビ
その他()

- ・ いいえの場合、その理由を記入してください。
()

2. 居室は入居者の好みを生かしますか？…………… はい いいえ

- ・ いいえの場合、その理由を記入してください。
()

3. 入居者が希望すれば、どの部屋に住むか選べますか？…………… はい いいえ

- ・ いいえの場合、その理由を記入してください。
()

4. 虫さされ、小さなケガなどは、自分で治療できるように、身近に救急箱が用意されていますか？…………… はい いいえ

- ・ いいえの場合、その理由を記入してください。
()

5. 戸締り、火の元の始末など住まいの管理に入居者も参加していますか？…………… はい いいえ

- ・ いいえの場合、その理由を記入してください。

- ()
6. 就寝の時、電灯のスイッチは入居者が消しますか？…………… はい いいえ
・ いいえの場合、その理由を記入してください。
- ()
7. グループホームに、入居者会議がありますか？…………… はい いいえ
・ いいえの場合、その理由を記入してください。
- ()
8. 新しい入居者を決める時、入居者が意見を言える機会(場)がありますか？…………… はい いいえ
・ いいえの場合、その理由を記入してください。
- ()
9. 会話でのコミュニケーションをとることが困難な入居者に対して、個別のコミュニケーション手段が工夫され、確保されていますか？…………… はい いいえ
10. 入居者が新しいことに挑戦する機会を積極的に保障していこうと考えていますか？…………… はい いいえ

【意思尊重】

1. グループホームの入居に関して、本人の意思確認をしていますか？…………… はい いいえ
2. 援助内容についての話し合いがありますか？…………… はい いいえ
- (1) 入居者と…………… はい いいえ
(具体的に……………)
- (2) 運営者と…………… はい いいえ
(具体的に……………)
- (3) 職員間で…………… はい いいえ
(具体的に……………)
- (4) 第三者を入れて…………… はい いいえ
(具体的に……………)
3. 夕食後や休日には、好きなことをして過ごせるよう配慮していますか？…………… はい いいえ
(具体的に……………)

【プライバシー】

1. 入居者は、グループホームの鍵と部屋の鍵を持っていますか？…………… はい いいえ
・ 持っていない時はどのようにしていますか？……………
(具体的に……………)
2. 入居者に来た手紙は、そのまま本人に渡しますか？…………… はい いいえ
3. 入居者の持物は、了解を得てから整理していますか？…………… はい いいえ
4. 入居者が留守の時など、その人の居室に入る時は了解をもらってから入りますか？…………… はい いいえ
5. あなたが入居者の部屋に入る時、ノックや声をかけ返事を待って入りますか？…………… はい いいえ
6. 入居者の了解なしに、写真を撮ったことがありましたか？…………… はい いいえ

7. 入浴、トイレは同性の人の援助(介助含む)を提供していますか? はい いいえ
8. 入居者の個人情報を開示する場合、本人、家族に了解を得ていますか? はい いいえ
(具体的に)

【選択の可能性】

1. 献立は入居者の希望を取り入れて用意していますか? はい いいえ
・ いいえの場合、その理由を記入してください。
()
2. 副菜や嗜好品など入居者が自由に選択できる部分がありますか? はい いいえ
・ いいえの場合、その理由を記入してください。
()
3. ご飯とおかずのおかわりはできますか? はい いいえ
・ いいえの場合、その理由を記入してください。
()
4. 例えば、生卵を食べられない人には、目玉焼きやゆで卵といった具合に好みに応じてメニューが用意されていますか? はい いいえ
・ いいえの場合、その理由を記入してください。
()
5. アレルギー体質や糖尿病等の疾病により、食べられない食品のある人には、別の料理を用意していますか? はい いいえ
・ いいえの場合、その理由を記入してください。
()
6. 入居者が調理をする機会がありますか? はい いいえ
・ いいえの場合、その理由を記入してください。
()
7. 入居者が望めば、毎日入浴できるように配慮していますか? はい いいえ
・ いいえの場合、その理由を記入してください。
()

【情報提供】

1. 入居に際して、グループホームでの生活や提供している援助内容について事前に説明していますか? はい いいえ
・ いいえの場合、その理由を記入してください。
()
2. 地域の回覧板の内容を、入居者にわかりやすく説明していますか? はい いいえ
・ いいえの場合、その理由を記入してください。
()
3. 地域の出来事を入居者にわかりやすく話す機会がありますか? はい いいえ
・ いいえの場合、その理由を記入してください。
()

4. 来客者の情報(いつ、どんな人が、何のため)を、事前に入居者に話し、了解を得ていますか？

..... はい いいえ

・ いいえの場合、その理由を記入してください。

()

5. 選挙の時、選挙できるように選挙の仕方や立候補者を広報誌にそって、入居者にわかりやすく説明していますか？..... はい いいえ

・ いいえの場合、その理由を記入してください。

()

【日常生活での自由】

1. 外出についての決まりや約束がありますか？ はい いいえ

「はい」の場合

(具体的に 例えば門限など)

2. 外泊についての決まりや約束がありますか？ はい いいえ

「はい」の場合(具体的に 例えば期間など

)

3. グループホームには入居者が自由に使える電話がありますか？ はい いいえ

4. 日常生活についての決まりや約束がありますか？

(1) 食事..... はい いいえ

「はい」の場合(具体的に

)

(2) 入浴..... はい いいえ

「はい」の場合(具体的に

)

(3) 起床..... はい いいえ

「はい」の場合(具体的に

)

(4) 就寝..... はい いいえ

「はい」の場合(具体的に

)

5. 異性との交際は？

・ 禁止している

・ 自由である

・ 望ましくないと考えている

・ 必要なら援助する

6. 希望して地域でのスポーツ・趣味の活動に参加している人がいますか？..... はい いいえ

「はい」の場合(具体的に

)

7. 日常の決まりや過ごし方について、入居者と話しあう機会は持っていますか

..... はい いいえ

・ いいえの場合、その理由を記入してください。

()

【入居者から預かったものの管理】

1. 現金や財産の保管と管理は、誰がどのようにしていますか？

(1) 小遣い 「誰が」(

)

「保管」(金庫の中・鍵のかかる場所 ・特に注意していない)

「管理」(必要に応じて本人に渡す ・出納簿をつけている ・領収証を添えている ・複数の人で
チェックしている)

(2) 生活費「誰が」(

)

「保管」(金庫の中・鍵のかかるところ・特に注意していない)

「管理」(必要に応じて本人に渡す・出納簿をつけている・領収証を添えている・複数の人でチェックしている)

(3)年金「誰が」()

「保管」(金庫の中・鍵のかかるところ・特に注意していない)

「管理」(必要に応じて本人に渡す・出納簿をつけている・複数の人でチェックしている)

(4)通帳・カード

「誰が」()

「保管」(金庫の中・鍵のかかるところ・特に注意していない)

「管理」(必要に応じて本人に渡す・出納簿をつけている・複数の人でチェックしている)

(5)印鑑「誰が」()

「保管」(金庫の中・鍵のかかるところ・特に注意していない)

「管理」(必要に応じて本人に渡す・利用状況をつけている)

(6)年金証書「誰が」()

「保管」(金庫の中・鍵のかかるところ・特に注意していない)

「管理」(必要に応じて本人に渡す・利用状況をつけている)

2. グループホームで預かっている入居者のお金や預金は、入居者が必要な時に出して使えますか？

..... はい いいえ

3. グループホームで預かっている入居者のお金や預金を、家族・親戚の人のために使うことがありますか？ はい いいえ

4. 入居者から預かっている通帳等の出し入れは記録していますか？ はい いいえ

5. 健康保険証や療育手帳(身体障害者手帳・精神保健手帳)などの保管と管理は誰がどのようにしていますか？

(1)健康保険証「誰が」()

「保管」()

「管理」()

(2)手帳「誰が」()

「保管」()

「管理」()

6. 入居者から預かっている物がわからなくなったり、紛失したりしないように預かった物を記録していますか？ はい いいえ

(具体的に)

【人間関係】

1. 地域の人との関係

(1)入居者は地域の行事に参加しますか？ はい いいえ

(行事名 参加人数)

(2)入居者は地域の人と出会うとあいさつをしますか？ はい いいえ

(3)地域の人も入居者にあいさつをしてくれますか？ はい いいえ

(4)入居者が訪ねていける知り合いの家がホームの近くにありますか？ はい いいえ

(5)町内会に加入していますか？ はい いいえ

(6) ボランティアや地域の方がホームを訪れることがありますか？…………… はい いいえ

これ以降は、グループホーム職員のみが答えてください。

1. あなたの入居者との普段の関わりは…。該当するものに○をつけてください。

- | | | |
|------------------------|-------|----|
| ア. 話かけの声が大きすぎないか …………… | 大きすぎる | 適切 |
| イ. 声がカン高くないか …………… | カン高い | 適切 |
| ウ. 権威的、威圧的な対応は …………… | ある | ない |
| エ. 訴えを無視することは …………… | ある | ない |
| オ. 呼び捨てすることは …………… | ある | ない |
| カ. 体罰を加えることは …………… | ある | ない |
| キ. 私用を言いつけることは …………… | ある | ない |
| ク. 全く声をかけないことは …………… | ある | ない |
| ケ. 子供扱いしたことは …………… | ある | ない |

【グループホーム職員の専門性】

* 以下1から3, 6, 7の設問は、職員の方が考えていることを自由に筆記してください。

1～3については、入居者の方どなたかを想定して答えてください。

1. あなたが援助している _____ さんのどんな表現からどんなことがわかりますか？

- ア. どんな表現から ()
- どんなこと ()
- イ. 何の表現もない

2. あなたが援助している _____ さんについてこの半年間に何か変化がありましたか？

- ア. あった (どんなこと)
- イ. ない

3. あなたが援助している _____ さんについて、あなたからみて長所と考えられる点を挙げてください。

・

・

・

4. あなたは入居者から信頼されていると思いますか？…………… はい いいえ

・ いいえの場合、その理由を記入してください。

()

5. 仕事のことで行きづまった時、相談できる人がいますか？…………… はい いいえ

・ いいえの場合、その時にはどうしていますか。

()

6. 過去1ヵ月の間の入居者との関わり合いで、あなたが一番苦慮したことがらについて伺います。

(どんなことがら)

(原因に思うこと)

(解決のためにしたこと)

(結果)

7. あなたが、援助内容を高めるために日頃努力していることがらを挙げてください。

・
・
・

8. この6ヵ月を振り返って、援助場面で次のようなことがありましたか？

- | | | |
|---|----|-----|
| ア. どなる、大声を出すなど、威圧的な態度をとったことがありますか？ | はい | いいえ |
| イ. たたくなど、体罰をあたえたことがありますか？ | ある | ない |
| ウ. 罰として食事を抜いたりしたことがありますか？ | ある | ない |
| エ. 身体を拘束したことがありますか？ | ある | ない |
| オ. 罰として正座させたことがありますか？ | ある | ない |
| カ. 理由を聞かずに叱りつけたことがありますか？ | ある | ない |
| キ. 呼び捨てにしたことがありますか？ | ある | ない |
| ク. 部屋に鍵をかけて閉じこめたことがありますか？ | ある | ない |
| コ. 入居者を好き嫌いで判断し、それを態度に表したことがありますか？ | はい | いいえ |
| サ. 失敗やうまくいかなかったことを入居者の能力のせいにしたことがありますか？ | | |
| | ある | ない |
| シ. 訴えを理由なく拒否したり無視したことがありますか？ | ある | ない |
| ス. 同僚が行った不適切な対応や人権侵害を黙って見過ごしたことがありますか？ | | |
| | ある | ない |
| セ. 入居者に私用を言いつけるようなことがありますか？ | ある | ない |

【援助の適切さ】

*この設問は、障害が重く会話できない人の様子と援助の適切さを知るために設けてあります。援助している人の中に該当する方がいる場合についてお答えください。

あなたが援助している()さんのことをお伺いします。…

- | | |
|----------------------------|-----------|
| 1. 表情や顔色はどうですか？ | () |
| 2. 皮膚の色つやはどうですか？ | () |
| 3. 目は輝いていますか？ | はい いいえ |
| 4. 笑顔が見られますか？ | はい いいえ |
| 5. 機嫌はよいですか？ | はい いいえ |
| 6. 呼びかけに答えますか？ | はい いいえ |
| 7. 体にケガやあざの跡はないですか？ | はい いいえ |
| 8. この6ヵ月間に体重に大きな変化がありましたか？ | はい いいえ |
| 9. この6ヵ月間にどんな病気をしましたか？ | |
| () | |
| 10. 食欲はありますか？ | はい いいえ |
| 11. 睡眠は十分にとれていますか？ | はい いいえ |
| 12. 情緒は安定していますか？ | はい いいえ |

13. この6ヵ月間に見られるようになってきた特有の傾向や癖はありますか？ …… はい いいえ
(具体的に)
14. 持病はありますか？ …………… はい いいえ
「はい」の場合、病名()
- 「はい」の場合、継続的な治療を受けていますか？ …………… はい いいえ
15. 常時服薬をしていますか？ …………… はい いいえ
16. 健康診断の結果はどうですか？ …………… 異常あり 異常なし
・ 異常ありの場合、結果に対してどうしましたか()

チェックしてみていかがでしたか。
チェックした内容について、気になるところがある時には、そのことについて、運営者、職員
同士等、最も適切な話し合いの場を持ちましょう。

資料

横浜市におけるグループホームモニタリング活動事例

グループホームとモニタリング活動

横浜市社会福祉協議会障害者支援センター

1 グループホームの誕生と
モニタリング活動

障害者支援センター（以下「支援センター」）がモニタリング活動(第三者による訪問点検活動)を開始したのは1993（平成5）年です。

支援センターは、作業所、グループホームなど、障害者と家族がつくり上げていく地域ベースの活動を包括的に支援（相談・コーディネート・啓発・研究・助成金交付等）している第三者的な機関です。

このモニタリング活動が生まれた背景には作業所やグループホームをつくり出してきた障害者や家族の願いと運動があります。作業所が相次いで誕生し、地域に根づきはじめた1975（昭和50）年代中頃、家族が倒れて何人かの作業所利用者は生活基盤を失いそうになっていました。

ともかく身近なところで、小さな単位で生活できる仕組みを早急につくらなければと、障害者や家族、関係者と検討を始め、グループホームの制度化にこぎつけたのが1985（昭和60年）です。

「暮らしの場を地域に創る」というこの検討のなかで障害者は今までの大規模な入所施設での暮らしにくさを訴えてきました。それらは大きな単位で暮らすことの必然的な限界や施設の閉鎖性からくる構造的な課題でした。

また作業所などの活動を通じて多くの障害者には地域で生きていこうとする積極的な意欲や自信が育ってきていました。グループホームで大切なことは規模もさることながら障害者の主体性が地域のなかで育まれることにあり、そのことを大切にしていこうということになりました。

それを実現するために、①管理性の排除、②暮らしが自己完結しないこと（閉鎖性の排除）、③入居者が選択し自立的に暮らしていくこと、という3つの原則を日々の生活のなかで実現・具体化することが障害者や家族、関係者の次なる命題となったのです。

支援センターはグループホームを実践している人々とともに運営と援助の指針となるマニュアルを作成、ついでその指針を自己点検できるリストの作成に着手しました。さらに1993（平成5）年、第三者の点検を合わせて行えるようモニタリング活動を開始することになったのです。グループホーム誕生から9年目のことです。

モニタリングという名にはサービスの受け手から主体者へ、生活の質を問うという積極的な願いがこめられています。横浜

のグループホームは運動から生まれ、その誕生と同時にモニタリングという新たな活動を生みしました。

2 モニタリングの必要性

(1) 入居者の特性

支援センターが支援しているグループホームは現在84か所、入居者405人中、知的障害の方が約71.1%を占め、またそのなかには精神障害をあわせ持つ方も多くいらっしゃいます。これらの方々は、自分の意思を第三者に伝えることにたいへんな困難を有しています。また、社会経験の乏しさから比較する判断基準も形成されにくく、グループホームの運営者や職員の枠組み・方針を疑問の余地なく肯定する状況に置かれやすい傾向があるといえます。それに加えてグループホームは他者の目が入りづらい空間です。グループホームは地域生活の有効打であると同時に、ひとつ間違えばたいへんな人権侵害を引き起こしかねない構造と危険性をはらんでいます。

横浜のグループホームは常勤職員の他にアルバイトやボランティア、ホームヘルパーの導入を積極的にはかっています。普段から個々人の生活を乱さない程度に他者の目が入るようにしているのです。また、運営者や職員も孤立した状況に置かれないよう横の連携をはかるよう支援センターも支援しています。しかしそれでもなおかつ深刻な事態が生じることもあります。

(2) 運営や職員援助の客観化と共有化

新聞紙上多くの体罰問題がとりあげられています。意図的なものは論外ですが、言葉による、また身体への規制・コントロールが現場では多く用いられていることが推量されます。ところが障害のある方が抱えている様々な課題にはそれらの手段では対応できない状況も数多く報告されています。やはり障害を正しく理解し、その方と共に課題を共有し、模索していくことでしか解決の道は見えてこないでしょう。

また福祉の現場で起こる人権侵害は無意識のうちに行われていることが多いといわれます。職員自ら「よかれと思ってしている」ことが、とすると過剰な規制や保護につながり、ついには体罰など深刻な人権侵害を引き起こしてしまうといった循環です。

しかし、職員自ら日々の援助を客観化することはたいへん困

難なことです。個人の意識や力量に任せるだけではなく第三者の目を入れる機会を仕組みとして持ち、援助を客観化することはたいへん重要な意味をもちます。モニタリング活動は障害のある方の課題を運営者や職員だけで囲い込むのではなく、第三者と共有するよい機会です。

一方、スタッフが少ない中で四苦八苦しながらも質の高い援助が提供されていることもモニタリング活動の中で明らかになります。市民には知られていないグループホームの暮らしを積極的に広報するよい機会でもあります。障害者の支援に直接あっている現場の職員や運営者を第三者的に点検するだけでは、グループホームの生活の質を向上させることは困難でしょう。運営者や職員への共感と相互理解、課題の共有化がモニタリング活動の基本です。

3 モニタリング活動の概要

(1) モニタリングを行う人—様々な立場性—

モニタリングはグループホームや作業所等あわせて毎年20か所程度実施しています。モニタリングを実際に行っている人(スタッフ)の立場は多彩で、現在25人です。法律的な視点から人権を守る弁護士や実際にグループホーム等の社会資源を利用しながら地域で生活している障害者やその家族、また、障害福祉に関心がある若い世代の学生や一般的な生活感覚を持つ市民、社会福祉士や学識経験者といったスタッフもかかわっています。入居者の生活がその時代、その地域の当たり前の暮らしと大きなギャップがあるかどうかを点検するために、様々な立場からの複数の視点は非常に重要です。

(2) モニタリング活動の流れ

モニタリング活動の流れは以下のとおりです。

①訪問先の選択と日程調整

年度当初に訪問先の年間計画を立てます。訪問先は未訪問箇所からランダムに選択しています。モニタリングを行うスタッフの活動可能な日程をもとに、2～3人の訪問チームを編成し、グループホームの訪問可能な日程とで調整します。

②モニタリングリストによる事前聞き取り

モニタリング活動でベースとなるリストは入居者用、運営者・職員用と2種類用意されています。これらのリストはグループホームに事前に送付し、記入後、支援センターへ返送してもらいます。横浜のグループホームには障害の重い方も多いので入居者に対する事前聞き取りは、支援センター職員が出向く支援も行っています。できる限り第三者的な人による聞き取り支援をはかる必要があります。

この活動で一番重視していることは入居者からの聞き取り結果です。時として深刻な事態が連想できる入居者の声もありま

す。また、運営者・職員のリストでは、運営者と職員また職員間で聴取内容が大幅に異なることもありますし、まったく同一のこともあります。前者の場合は再度グループホーム内の連携をはかる必要がありますし、後者の場合は独善的な運営がされていることが想定される場合もあります。

③モニタリングリストの集計と事前送付

事前に聴取したモニタリングリストは設問毎に回答を集計し、訪問スタッフへ事前送付します。

④モニタリングの実施

モニタリングスタッフは、入居者、運営者、職員の方と話をしながら生活の様子やリストの気になる点等を直接確認します。その他、入居者の皆さんと懇談したり、本人の了解が得られれば居室を見せていただいたりします。グループホームの皆さんと夕食をいただくこともあります。食事中の雰囲気からも普段のグループホームの様子が見えることもあります。

⑤モニタリング結果報告書の作成と通知

スタッフから提出された報告書と事前聴取したリストをもとにモニタリング結果報告書を作成します。この報告書の中では、単に改善事項を並べるだけではなく、評価できる点や、課題がある場合はどういった工夫ができるのかなどのアドバイスをしています。

モニタリング結果報告書は、支援センター長名でグループホームに通知されます。

⑥課題改善に向けたフォローアップの開始

モニタリング結果報告書において、改善しなければならない点がある場合、どのようにすれば改善できるのかなどアドバイスを行い、支援センターによるフォローアップが開始されます。

⑦モニタリング委員会への結果報告とその検討

この活動に参画している25名のモニタリングスタッフにより構成されたモニタリング委員会が支援センター内に設置されており、課題に対する改善状況の報告や活動の中で見えてきた様々な事象について討議しています(年に1～2回開催)。モニタリングを行う中で解釈に迷う事柄などを他のスタッフと検討していますが、中にはまだ解決されていない事項もあります。こうした継続的な議論がモニタリング活動やその後のフォローアップの更なる充実に大きな役割を果たしています。

(3) モニタリング結果報告とフォローアップ

実施結果で様にいえることは、健康、金銭、制度、余暇等様々な分野の情報提供が充分ではないことです。障害者の自己決定や自立を支えるためには様々な体験とわかりやすい情報提供が一番重要なことですが、横浜のグループホームではそのことがまだ充分できていない実態が浮かびあがっています。

モニタリング活動で明らかになった上記のような課題は、まずグループホーム内で共有することが大切です。その後、改善に向けて取り組む上では、その各課題をグループホームと共有しフォローアップする組織の存在が非常に重要です。

横浜では、前述の通り、こうした課題改善のフォローアップを支援センターが行っています。改善しなければならない点がある場合、支援センターはそのアドバイスをを行い、また、必要に応じて関係機関とのコーディネートや看護師等専門職の派遣を実施しています。その他、これまでのモニタリング活動の実践から見えてきた状況を、グループホームが横の連携をはかるために結成されているグループホーム連絡会やその関係者と話し合い、制度の改善にも着手してきました。このようにモニタリング活動は、その実施と共にその後のフォローアップが大切です。

4 開かれたグループホームへ ～今求められること～

(1) 第三者的な見守り強化～市民モニターなど～

モニタリングの課題はグループホームを訪問できる頻度があまりに少ないことです。増え続けるグループホームにモニタリングが追いつかない状況も出てきました。グループホームからも「たまにきて何がわかるの?」「見知らぬ訪問者に利用者が困惑した」といった指摘もしばしば受けます。モニタリングの回数を強化すると同時に市民による日頃の見守り(市民モニターまたはオンブズマン)を実現できないものか検討しています。

(2) 多様で重層的な見守り体制

それと同時に、機能や役割の異なる組織による二重・三重の見守り体制をつくりあげていくことも必要です。支援センターが支援しているグループホームは運営委員会方式(任意の運営グループ)をとっていますが、運営委員会や入居者・家族等で構成する事務局会議も見守りの重要な役割を果たしています。さらに前述したグループホーム連絡会の入居者部会での話し合いも障害者を見守る重要な役割を果たしています。

また、先述したとおり、叱責の声が頻繁に響いてこないかなど地域住民の温かい見守りも大切です。

さらに、金銭管理を第三者に託す仕組みもできました。現在グループホームの入居者の金銭管理支援は、ホームの職員が行っているところがほとんどです。入居者の金銭管理はグループホームの職員が複数で行うか、財産管理支援機関に託す、第三者を設置するなど相互牽制体制を導入することが急がれます。入居している皆さんからすると少々息苦しいほどの見守り体制ですが、特に知的障害や精神障害の方には必要なことだと考えます。そして今後、もっとも課題となるのは障害者の人権を守るための後見役と暮らしを共につくり上げていくマネージャーをどう配置していくかだと考えられます。

(3) 情報公開の必要性

グループホームでは、運営する側の責任と入居者の責任を明確にし、合意することも大切です。例えば各種契約書の締結やルールがある場合、それを示す入居のしおりといったものの開示です。グループホームが提供するサービスの内容やボリュームなどを積極的に情報公開することにより障害者の選択を容易にし、入居者と第三者もそれをベースに点検しやすくなります。

横浜に運営委員会型のグループホームが誕生して23年になります。毎年グループホームは加速度をもって増加し、かつ地域に定着しつつあります。そのことは高く評価され、かつより充実されなければなりません。しかし、グループホーム設立と同時に入居者の人権を守る仕組みを抱き合わせで用意する必要性を痛感します。モニタリング活動はその仕組みの一部ではありません。

ようやく見えてきた障害者の地域生活の実態を、主体性の尊重や命、健康、豊かさ、財産など、基本的人権を擁護する観点で詳細に再検証し、欠けている部分を具体的に構築していく作業に入っていく必要があります。